

いきいきボランティア No.9

市内のボランティア団体として登録し、助け合いの精神をもってさまざまな活動をしている皆さんを紹介するコーナーです。
問 ボランティア市民活動センター ☎0475(89)2121



本郷生活研修センターで活動するメンバー

「美郷会」

会設立 平成12年
代表 猪野 八千代さん(植草)
会員数 25人

〈主な活動〉

- ・市の保健事業への協力としてB型リハビリを実施(本郷生活研修センター、寿公民館、日向中央公民館)
- ・軽体操、話し相手、レクリエーションなど

「利用者さんもボランティアのわたしたちもみんな友だち感覚で接しています」と話すのは、代表の猪野さん。介護予防を目的とするB型リハビリは自力で通えるお年寄りに、自立した生活を支援するために始められた事業です。

地域の中高齢者の皆さんとのひと時の中、「いきいきした笑顔を見るともっと楽しくしようと頑張れます。そして自分たちも仲間に会える楽しみも感じる」のだそうです。

また、毎回の指導には交代で班長になり、楽しみながら、責任を持った指導ができるようになっています。お邪魔したこの日は、手足を伸ばす軽い体操のあと、指先をつかえるように干支の切り絵に挑戦。出来栄に一喜一憂する皆さんの笑顔がありました。



干支の切り絵に挑戦中!

編集後記

▼平成の大合併で、4町村が一つになった山武市誕生から早3年の歳月が経過しました。それぞれ違う風習や習慣に戸惑いを感じながら、広報の取材も手探り状態の月日だったような気がします。テープカットの表紙で飾った第1号からかぞえて36号目、その一号一号を読み返しては、取材でお世話になった皆さんとのふれあいを思い出し、感慨に浸っています。▽合併記念として、市内の施設では無料開放や記念イベントを企画しています。ぜひ一度お出かけになって、ふれあいを感じてみてください。誕生と共に動き始めた時計が、刻々と歴史を刻み続けていくように、広報さんむむしっかりと記憶に残る紙面づくりをして行きたいと思えます。(k)

▼「人は目標を持つと頑張ることができる」▽昨年行われた千葉県広報コンクール表彰式の会場内で「わたしも壇上に立ちたい、専門家に認めてもらいたい、そして市民に読んでもらえる広報紙を作りたい」と強く思いました。今年、一つの目標は届きました。これからは「伝える」広報紙ではなく「伝える」広報紙づくりを目指し努力していきます。▽広報紙は皆さんの協力が必要不可欠です。これからも、こんな人がいる、こんなことをやるなど、皆さんの情報や広報紙に関する意見をお寄せください。お待ちしております。(T)